Let's Try! プロの裏技！

試して納得！快適寝具お手入れ術

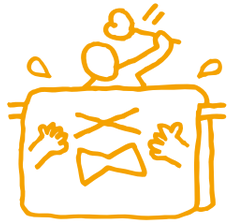
お手入れひとつで、見違えるほど快適長持ち！

知っているようで知らない、正しいふとんのお手入れ方法をプロが直伝。ちょっとしたひと工夫で、ふとんの持ちも快適さもグンと変わってきます。目からウロコの快適寝具お手入れ法、ぜひお試しください。

毎日のお手入れ編

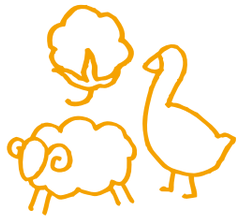
ふかふかの秘訣は「干し方」！

湿気のこもったふとんは、ダニやカビの温床になりやすく、せっかくの肌触りや保温性も損なわれてしまいます。正しい干し方をマスターし、いつでも快適ふかふかふとんをめざしましょう！



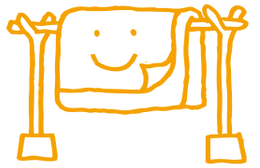
たたき過ぎない

ふとんたたきは、軽くほこりを落とす程度で十分。特に羽毛ふとんなどは、たたくと中の羽毛を傷めてしまうため注意が必要です。



素材に合わせて

羽毛ふとんは月１～２回、片面１時間。羊毛ふとんは月３～４回、片面２時間を目安に干しましょう。素材に合わせて干し方を変えるのがポイントです。



日焼けに注意！

直接日光があたる側生地は、どうしても傷みやすくなります。側生地の日焼けを防ぐため、日に干す際は必ずカバーやシーツで覆いましょう。

クールダウンを

ふとんを取りこんだ後は、しばらくふとんを広げ、中の熱を発散させてからしまいましょう。すぐにしまうと中で結露し、湿気がたまる原因にも！

ゴールデンタイム

ふとんを干すゴールデンタイムは、日が高くなる午前 10 時頃から午後３時頃まで。早朝は意外に湿度が高いので、避けるようにしましょう。

長期保管のコツ

大敵は「湿気」と「虫害」！

季節ものや来客用ふとんなど、使う直前になってカビ臭くてびっくり…そんな経験ありませんか？長期保管で大切なのは「湿気」と「虫害」対策。これさえマスターすれば万全です！

収納前のプレケア

押し入れなどに収納する前に、ふとんを十分に乾燥させます。クリーニング後に収納する場合は、ビニール袋から出し、軽く空気を通してから収納します。湿気がこもらないよう、木綿の大きな風呂敷に包み、押し入れの上段など、湿気の少ない場所に保管しましょう。

防虫対策

天然素材の羽毛ふとんや羊毛ふとんは、虫害ケアも大切なポイント。長期保管の際には、ふとんに防虫剤をはさむなど、しっかり防虫対策をしましょう。防虫剤は素材に合わせて選び、取扱説明書をよく読んでお使いください。

収納中の湿気対策

晴れた日には押し入れなどの扉を開け、風を通しましょう。押し入れの湿気対策には、乾燥剤やすのこも効果的です。何年もしまいっぱなしにせず、半年に一度はふとんを押し入れから出して、虫干ししてあげてください。

さらにワンポイント！

圧縮袋は便利だけれど…

特に長期保管の場合、圧縮袋などで圧縮するとふとん本来のかさ高が損なわれてしまいます。やむを得ず圧縮して収納する場合は、袋に入れる前にふとんをよく乾燥させ、空気を抜きすぎず、長期間圧縮したままにしないよう注意しましょう。

洗浄・シミ抜き・補修まで!!

「マルハチふとんクリニック」はきれいに洗うだけのクリーニングとは違い、一枚一枚ふとんの状態を診断し、洗浄から、シミ抜き、補修まで、それぞれの素材に合わせたお手入れで、ふかふかにリフレッシュします。どうぞご利用ください！

ふとんを洗うメリットは？

- 中わたの汗汚れもスッキリ！
- あたたかさ（保温性）が回復
- ダニのフンまでスッキリ洗浄！

最新技術で大きな安心を！

- オゾン殺菌処理
- 銀イオン抗菌処理

大好評です！

マルハチ ふとんクリニック

磐田工場

マルハチのクリニック工程▶

❶ 受付～検査
ふとんクリニック診断書をもとに洗浄方法や修理方法を決定します。

❷ 前処理
シミ抜き、前処理機で汚れを落としやすくします。ファートンは打塵機でホコリを除去します。

❸ 洗浄～脱水
ふとんの種類に合わせて、大型洗濯機で汚れをきれいに洗い流します。ファートンは円形植込ブラシ洗浄します。

❹ 乾燥
乾燥は仕上がりの風合いを決める重要なポイント。ダニも死滅させます。

❺ 補修
穴、ほころび、ほつれの修理やキルティング補修。ファートンは専用アイロン機と整毛機で仕上げます。

❻ 検査～出荷
クリニックの仕上がりを厳しく検査し、お客様のお手元にお届けします。